

第63回全油販連定時総会開催

日時 平成28年10月11日(火) 14:30～18:30

場所 ロイヤルパークホテル 春海の間・東雲の間

総会では27年度事業・決算報告および28年度事業・予算計画が原案通り承認され、任期満了に伴う役員改選で新会長に宇田川公喜(㈱宇田川商店社長)が選任され副会長には金田雅律(㈱マスキチ社長)、金田康男(カネダ㈱社長)、木村顕治(㈱マルキチ社長)、太田健介(太田油脂㈱社長)の4氏が就任した。

総会后、㈱高島屋日本橋店総務部顧客グループ担当部長コンシェルジュの敷田正法氏による「最高のおもてなし」～人の心を動かす「気遣い力」とは～をテーマに講演が行なわれた。続いて農林水産省食料産業局食品製造課 神井弘之課長が「食品の規格・認証をめぐる最近の状況について」のタイトルに基づき①食品製造課について②JASの仕組みを活用した輸出力の強化について③日本発の食品安全管理規格・認証スキームの推進について、パワーポイントを用いて講話をされた。



敷田正法氏の講演



講演を聴く出席者



農水・神井課長の講話

その後、来賓、賛助会員、会員各社をまじえ行なわれた懇親パーティで、宇田川公喜新会長が「本日の総会で第20代の会長に就任した。皆様のご支援をよろしくお願ひしたい。全油販連は昭和28年に創立し63年になるが、13年前に当時の館野会長に次の世代の若手の会をと言われ次世代交流会を作った。2年を経過し、名称を油脂未来研究会に変更、勉強会等を行ない13年経った。油脂未来研究会は一時休止となるが必要な時に次の経営者を育てる会を作っていきたいと思っている」と就任の挨拶を行なった。

引き続き、一般社団法人日本植物油協会の今村隆郎会長(日清オイリオグループ(株)社長)より「まずは第63回目の総会を滞りなくお終えられ、宇田川新会長以下、新しい体制がスタートしたことにお祝いを申し上げます。この夏は台風や集中豪雨など災害が多く、被災された方々にお見舞いを申し上げたいと思う。日本の景気を考えるとまだまだ足踏み状態であり、個人消費もなかなか盛り上がり、市場は依然として低価格志向が続いており、デフレ状態から脱却できずにいる。穀物動向については、世界的に人口が増加、生活水準も向上していることから穀物の需要は拡大している。従って大豊作でも大豆が9ドル台を維持しており、なかなか下がらない。気を引き締めて得意先に状況を説明し、価格を維持することに努めていくまた、メーカーとしてお客様に寄り添った商品の開発を行なっていく。このところ、油の健康性が非常に評価されてきている、健康寿命の延伸に製販一丸となって、ここに注力していくことが必要ではないかと思っている」と来賓の挨拶をいただいた。

懇親パーティは、太田健介副会長の乾杯の挨拶で和やかに会が進行し歓談後、木村顕治副会長の油締めで散会した。



宇田川新会長の挨拶



日油協・今村会長の挨拶



太田副会長の乾杯挨拶



木村副会長の中締め挨拶



木村副会長による油締め

(写真提供 油脂特報社)